

## Tax is Life

高田華（山口県・岩国市立岩国中学校）

「税とは何だろう。」

税には色々な種類がありますが、今、中学生の私が一番身近に感じているのは、消費税です。千円の物を買うために、千百円払います。税金の使い道を知るまでは、とてもマイナスイメージでした。日本では、私のように税に対してマイナスイメージを持っている人が多いように感じます。納税は国民の義務であり、納める事ばかりに意識が向きがちですが、私達が集めた税金が、どのように使われているかを知る事も大切です。

国民の幸福度が高いといわれている、デンマークの消費税は、なんと二十五パーセントだそうです。デンマークでは、教育費は、幼稚園から大学まで無料、病院も無料です。日本でも、

「高い税金を払った分、国民の生活が楽になっている。」

と実感出来たら良いと思います。

他にも、世界には、日本にないユニークな税がある事を知りました。肥満が社会問題になっているアメリカでは、一部の州で、ソーダ税が課せられています。市民をより健康的な飲料水へと誘導することの出来る、理想的な制度のように考えられているそうです。日本は、アメリカほどソーダによる肥満という問題は深刻ではない気がしますが、アメリカの取り組みが広がり、成功を収めると、いつか日本にも導入される日が来るかもしれないと思いました。他にも、イギリスでは、車の渋滞が慣性化していたロンドン市内の交通状況の改善と、公共交通機関の利用促進のために、渋滞税が課せられています。ロンドン市内の特定のエリア・特定の時間帯に自動車で行くと課金されるシステムで、ハイブリットカーや電気自動車などの環境にやさしい車、バイク、バス、タクシーは免除となります。渋滞税が導入されてから、渋滞は平均三十パーセントも緩和され、ロンドン交通局は効果があったと発表しています。渋滞が減ったということは、事故につながるリスクも減ったのではないかと思います。ソーダ税も渋滞税も、結局は、国民の健康と安全を考えた「人々の暮らしを守っている税」だと感じました。

日本でも同じです。私達が納めている税金で、年金や医療などの社会保障費用、災害対策や道路整備、学校教育など、さまざまところで、税金が使われています。もしも税金がなかったら、病気や、年を取って働けなくなった時、自分達の備えだけで生活しなければいけません。「安心な生活」と言えるのでしょうか。幸福を感じられる生活は、やはり、「安心感」だと私は思います。

私達の生活（Life）は、税（Tax）をただ納めるだけではありません。

税に支えられて、私達の安心な生活が成り立っている、まさに、

「Tax is Life」なのです。